

# 2020年12月期 第3四半期 決算補足説明資料

2020年11月12日

Jトラスト株式会社

## 本資料のお取扱いに関して

- 本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 当社は、2019年12月期に決算期を4月1日から翌3月31日までから1月1日から12月31日までに変更いたしました。これにより2019年12月期は、決算期変更の経過期間となり、9ヶ月間（2019年4月1日～2019年12月31日）を対象とした変則決算となっております。
- 本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在的リスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績及び記載されている将来見通しとは乖離が生じることがありますのでご承知おきください。

【 本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先 】

Jトラスト株式会社 財務部

TEL (03) 4330-9100

URL:<https://www.jt-corp.co.jp/>

1. 主要な経営指標の推移
2. 2020年12月期第3四半期 連結決算概要
  - 1) 連結業績（累計）の前期比較
  - 2) セグメント別営業収益及び営業利益（連結・累計）の前期比較
3. 2020年12月期連結決算進捗状況

尚、「データ集」につきましては、弊社ウェブサイトに記載しております。  
併せてご覧いただきますようお願い申し上げます。

(IR情報\_IR資料室\_決算資料\_財務データ)

[https://www.jt-corp.co.jp/ir/library/ir\\_data\\_00/](https://www.jt-corp.co.jp/ir/library/ir_data_00/)

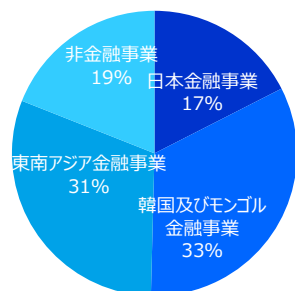
# 1. 主要な経営指標の推移

(単位：百万円)

	2020年9月30日 現在
時価総額(百万円)	27,943
発行済み株式数 (株)	115,469,910
株価(円)	242

	2018年3月期 ※1	2019年3月期 ※2	2019年 12月期※3※4	2020年12月期 3Q (1-9月) ※3
営業収益	74,321	74,935	37,698	38,845
営業費用	47,451	78,253	23,839	22,328
営業総利益	26,870	-3,318	13,859	16,517
販売費及び一般管理費	24,128	28,488	22,970	19,106
その他の収益	2,239	366	5,504	598
その他の費用	222	1,159	318	149
持分法による投資利益	-12	-36	-	915
営業利益	4,759	-32,600	-3,936	-1,224
金融収益	47	1,612	124	135
金融費用	1,895	110	603	661
税引前利益	2,898	-31,135	-4,405	-1,750
親会社の所有者に帰属する 当期利益	-731	-36,107	-3,260	1,226
営業収益営業利益率	6.40%	-43.50%	-10.41%	-3.15%
ROA (総資産利益率)※5	-0.11%	-5.45%	-0.62%	0.23%
ROE (自己資本利益率)※6	-0.50%	-29.06%	-4.26%	1.67%

## 営業収益構成 2020年12月期第3Q (累計)



- ※1 税引前利益までの数値について、非継続事業（アドアーズ、ハイライツ・エンタテインメント）を除く数値で表示しております。
- ※2 税引前利益までの数値について、非継続事業（ハイライツ・エンタテインメント）を除く数値で表示しております。
- ※3 税引前利益までの数値について、非継続事業（キーノート、Jトラストカード、JT親愛貯蓄銀行）を除く数値で表示しております。
- ※4 オルファスの株式交換に係る暫定的な会計処理の確定による遡及修正を反映しております。
- ※5 ROA (年換算) = 親会社の所有者に帰属する当期利益 ÷ 資産合計 (%) ※資産合計 (前期末 + 当期末) / 2
- ※6 ROE (年換算) = 親会社の所有者に帰属する当期利益 ÷ 親会社の所有者帰属持分 (%) ※親会社の所有者帰属持分 (前期末 + 当期末) / 2

## 2020年12月期第3四半期 (7~9月)

当社グループの主な取り組みについて (一部、提出時点での取り組みを含む)

### (i) 日本での事業展開

(Jトラスト)

- ・SAMURAI&J PARTNERS(株) (現 Nexus Bank(株)) と株式交換契約を締結

事業ポートフォリオを見直し株主価値の最大化を図る目的で、2020年9月、**SAMURAI&J PARTNERS(株)を株式交換完全親会社、Jトラストカードを株式交換完全子会社とする株式交換契約を締結**、11月1日付けでJトラストカード及びJT親愛貯蓄銀行を連結の範囲から除外

(日本保証)

- ・不動産担保ローンに対する保証の増加

2020年8月に、**東急リゾート(株)が販売している分譲型コンドミニアムホテルを担保**に提携先金融機関が**購入資金を融資する不動産担保ローンに対する保証を開始**

(キーホルダー)

- ・(株)ノース・リバーの全株式取得

2020年8月に女性アイドルグループ「乃木坂46」の運営かつ芸能プロダクション会社である**乃木坂46(合)の50%の持分を保有する(株)ノース・リバーの全株式取得を完了**

- ・(株)プロスペクトと株式交換契約を締結

2020年8月、**(株)プロスペクトを株式交換完全親会社、キーノート (現 (株)グローバルス) を株式交換完全子会社とする株式交換契約を締結**、2020年9月、キーノートを連結の範囲から除外

## 1) 連結業績（累計）の前期比較

※当社は2019年12月期より決算期(事業年度の末日)を3月31日から12月31日に変更しております。この変更に伴い、前期は対応する要約四半期連結財務諸表を作成してないため、対前年同期比につきましては記載しておりません。さらに、前期に行われた企業結合に係る暫定的な会計処理を、当期に確定させたため、前期の関連する数値を遡及修正しています。

(単位:百万円)

	2019年12月期 (4-12月) 累計		2020年12月期3Q (1-9月) 累計		主な増減要因
	実績	百分比 (%)	実績	百分比 (%)	
営業収益	37,698	100.0	38,845	100.0	増 ・前期8月に取得したJトラストロイヤル銀行の営業収益が9ヶ月間寄与 ・ノース・リバーの連結子会社化に伴う営業収益の増加 ・JT貯蓄銀行において、銀行業における貸出金の増加に伴い利息収益が増加 減 ・前期、TA資産管理貸付において、大規模な買取債権の売却による債権売却益を計上したことに比べ減少
営業費用	23,839	63.2	22,328	57.5	増 ・Jトラストロイヤル銀行、ノース・リバーの連結子会社化により営業費用が増加 減 ・日本保証において、買取債権の将来CFの見直しに伴い貸倒引当金繰入額が減少 ・前期、東南アジア金融事業で買取債権に対する貸倒引当金繰入額を大幅に計上したことに比べ当期減少
販売費及び一般管理費	22,970	60.9	19,106	49.2	増 ・Jトラストロイヤル銀行、ノース・リバーの連結子会社化により販売費及び一般管理費が増加 減 ・M&A費用及び訴訟関係費用の減少
その他の収益・費用	5,185	13.8	449	1.2	減 ・前期、Jトラストロイヤル銀行の連結子会社化に伴い、負ののれん発生益を計上したことに比べ当期減少
持分法による投資利益・投資損失	—	—	915	2.4	増 ・ノース・リバーの連結子会社化に伴い、持分法適用関連会社である乃木坂46(合)の持分法投資利益を計上
営業利益	-3,926	-10.4	-1,224	-3.2	
金融収益・費用	-479	-1.3	-525	-1.4	
税引前利益	-4,405	-11.7	-1,750	-4.5	
法人所得税費用他	2,446	6.5	1,147	3.0	
継続事業からの当期(四半期)利益	-6,851	-18.2	-2,897	-7.5	
非継続事業からの当期(四半期)利益	3,097	8.2	2,885	7.4	
非支配持分	-494	-1.3	-1,238	-3.2	
親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益	-3,260	-8.6	1,226	3.2	

※1 キーノート、Jトラストカード、Jト親愛貯蓄銀行の業績につきましては、2019年12月期、2020年12月期3Qとも、IFRS第5号（売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業）に基づき非継続事業に分類しています。

## 2) セグメント別営業収益及び営業利益（連結・累計） の前期比較

※当社は2019年12月期より決算期(事業年度の末日)を3月31日から12月31日に変更しております。この変更に伴い、前期は対応する要約四半期連結財務諸表を作成してないため、対前年同期比につきましては記載しておりません。さらに、前期に行われた企業結合に係る暫定的な会計処理を、当期に確定させたため、前期の関連する数値を遡及修正しています。

(単位:百万円)

		2019年12月期 (4-12月) 累計	2020年12月期 3Q (1-9月) 累計	主な増減要因
日本 金融事業	営業収益	7,366	6,879	・保証料収入は順調に増加 ・日本保証において、買取債権の回収が進んだことにより簿価修正損益が減少
	営業利益	3,082	3,427	・日本保証において、買取債権の将来CFの見直しに伴い貸倒引当金繰入額が減少
韓国及び モンゴル 金融事業	営業収益	14,760	12,933	・JT貯蓄銀行において、銀行業における貸出金の増加に伴い利息収益が増加 ・JTキャピタルにおける営業貸付金の減少に伴い、貸付金利息収益が減少 ・前期、TA資産管理貸付において、大規模な買取債権の売却による債権売却益を計上したことと比べ大幅に減少
	営業利益	3,929	2,341	・債権売却益の減少に伴い、営業利益も減少
東南アジア 金融事業	営業収益	9,673	12,014	・前期8月に取得したJトラストロイヤル銀行の営業収益が9ヶ月間寄与
	営業利益	-4,624	-4,322	・前期、買取債権に対する貸倒引当金繰入額を大幅に計上し減少したことと比べ当期増加するも、前期、Jトラストロイヤル銀行の連結子会社化に伴い、負ののれん発生益を計上したことと比べ当期減少したうえ、銀行預金金利の高止まりにより銀行預金利息費用が増加したこと等により減少
総合エンターテインメント事業	営業収益	4,850	6,189	・ノース・リバーの連結子会社化により増加
	営業利益	-265	-451	・新型コロナウイルス感染症の影響が未だ続いており営業収益が減少していること等に加え、固定費負担が重く減少
投資事業	営業収益	815	731	
	営業利益	-1,768	-1,223	・訴訟関係費用が減少
その他の 事業	営業収益	596	539	
	営業利益	-203	-95	
連結	営業収益	37,698	38,845	
	営業利益	-3,926	-1,224	

※1 キーノート、Jトラストカード、J T 親愛貯蓄銀行を非継続事業として分類したことから、2019年12月期、2020年12月期3Qとも、実績数値から非継続事業を除いた数値に組み替えて表示しています。

※2 当第3四半期連結会計期間に、不動産事業の中核を担っていたキーノートを連結の範囲から除外しております。それに伴い不動産事業は重要性が乏しくなったため、その他に含めております。

#### セグメント別業績について

当社は、2020年9月23日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、今後、事業ポートフォリオの価値の見直しを更に加速させ、株主価値の最大化に努めてまいりたいと考えております。

今後、事業ポートフォリオの見直しを進めていくにあたり、業績予想の合理的な算定は極めて困難と判断されることから、**2020年12月期の通期連結予想は、未定とさせていただきます。**